

Internet Explorer に関するサポートのお知らせ

マイクロソフト社は、マイクロソフト社ホームページにて「Internet Explorer サポートポリシー変更の重要なお知らせ」(2014年8月7日)をアナウンスし、この中で「2016年1月12日(米国時間)を過ぎると、使用しているオペレーティングシステムでサポートされる、最新バージョンの Internet Explorer だけが、技術サポートとセキュリティアップデートを受けられることとなります。」と記載しています。

マイクロソフト社がサポート対象とする Windows OS と
Internet Explorer バージョンの組み合わせ(クライアント OS のみ抜粋)

お使いのWindows OS	Internet Explorer のバージョン
Windows Vista SP2	Internet Explorer 9
Windows 7 SP1	Internet Explorer 11
Windows 8.1 Update	Internet Explorer 11
Windows 8	Windows 8.1 へアップデートが必要です

電子入札システムにおいては、上記以外の Internet Explorer もご利用いただけますが、マイクロソフト社によるサポートが提供されなくなると、脆弱性や新たに発生する問題への対応は行えなくなりますので、お早めにマイクロソフト社がサポートを提供するOS及び Internet Explorer へ移行することをお勧め致します。なお、利用可能なOS及び Internet Explorer の組み合わせについては、下記「電子入札システム OS・ブラウザのバージョン対応表」をご確認ください。

電子入札システム OS・ブラウザのバージョン対応表

OS	Internet Explorerのバージョン(※1)(※3)				
	7	8 (※4)	9 (※4)	10 (※4)	11 (※4)
Windows Vista Business/ Home Premium SP1、SP2 (32bit版)	○ (※5)	○ (※5)	○	×	×
Windows7 Professional/ Home Premium SPなし、SP1 (32bit版)	×	○ (※5)	○ (※5)	○ (※5)	○
Windows7 Professional/ Home Premium SP1 (64bit版)	×	○ (※5)	○ (※5)	○ (※5)	○
Windows8.1エディションなし、 Pro (32bit版/64bit版) (※2)	×	×	×	×	○

(※1) Internet Explorer は全て 32bit 版をご利用ください。

(※2) Windows8.1 の場合、デスクトップ版の Internet Explorer のみ対象となります。

(※3) 全てのバージョンの Internet Explorer で信頼済みサイトの設定が必要となります。

(※4) Internet Explorer 8、9、10、11 を利用する場合、互換表示設定が必要となります。

(※5) 灰色網掛け部分は、マイクロソフト社がサポート提供を終了するバージョンです。お早めにマイクロソフト社がサポートを提供するバージョンへ移行してください。

以上

1 : セキュリティに関する設定方法

以下の手順にて、信頼済みサイトへの登録を行ってください。

- ① 「Internet Explorer」を起動する。
- ② 「ツール」メニューより「インターネットオプション」を選択する。
- ③ 「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」ボタンをクリックする。
- ④ 「次のWebサイトをゾーンに追加する」に以下のURLを入力し「追加」ボタンをクリックする。

<https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/>

<https://www.epi-asp.fwd.ne.jp/>

- ⑤ 「OK」ボタンをクリックし「インターネットオプション」画面の「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックする。
- ⑥ 「ポップアップブロックの使用」を「無効にする」に変更する。
- ⑦ 「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を「有効にする」に変更する。
(ただし、Internet Explorer9以降の場合、項目がないため、設定は不要です。)
- ⑧ 「OK」ボタンをクリックし各設定画面を閉じる。

※2 : 互換表示に関する設定

以下の手順にて互換表示の設定を行ってください。

- ① 「Internet Explorer」を起動する。
- ② 「ツール」メニューより「互換表示設定」を選択する。
- ③ ・ 「互換表示で全てのWebサイトを表示する」がチェックされている場合
→何も設定せず④に進んでください。
・ 「互換表示で全てのWebサイトを表示する」がチェックされていない場合
→「このWebサイトの追加」の欄に以下を入力し、「追加」ボタンを押してから④へ
進んでください。

fwd.ne.jp

- ④ 「閉じる」を押して設定画面を閉じる。

※3 : 使用フォントに関する設定方法

・ Windows Vista／Windows7の場合

以下の手順にて、JIS90フォントの設定を行ってください。

- ① JIS90フォントパッケージをインストールする。
・ Windows7は下記を参照ください。

<http://support.microsoft.com/kb/927490/ja>

・ Windows Vista は下記を参照ください。

http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp/font/jis90/defa_ult.msp

- ② IMEプロパティを開く。
- ③ [変換]タブを押下する。

- ④ [変換文字制限]ボタンを押下する。
- ⑤ 「JIS X 0208文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる。

・ Windows81 の場合

以下の手順にて、フォントの設定を行ってください。

- ① IMEプロパティを開く。
- ② [変換]タブを押下する。
- ③ [詳細設定]ボタンを押下する。
- ④ 「JIS X 0208で構成された文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる。

電子入札システム JRE8 動作保証開始のお知らせ

【動作保証環境】

(1) OS・ブラウザのバージョン対応表（今回変更なし）

OS	Internet Explorerのバージョン (※1) (※3)				
	7	8 (※4)	9 (※4)	10 (※4)	11 (※4)
Windows8.1エディションなし、 Pro (32bit版/64bit版) (※2)	×	×	×	×	○
Windows7 Professional/ Home Premium SP1 (64bit版)	×	○	○	○	○
Windows7 Professional/ Home Premium SPなし、SP1 (32bit版)	×	○	○	○	○
Windows Vista Business/ Home Premium SP1、SP2 (32bit版)	○	○	○	×	×

(※1) Internet Explorer は全て 32bit 版をご利用ください。

(※2) Windows8.1 の場合、デスクトップ版の Internet Explorer のみ対象となります。

(※3) 全てのバージョンの Internet Explorer で信頼済みサイトの設定が必要となります。

(※4) Internet Explorer 8、9、10、11 を利用する場合、互換表示設定が必要となります。

※Internet Explorer のバージョンと JRE のバージョンの組み合わせについては、下記 (2) をご確認ください。

(2) Java のバージョン対応表

以下枠線部分 (JRE8) が新たに追加される動作保証環境となります。

※JRE6 は動作保証対象外となります。ただちに本システムが利用不可になるわけではありませんが、提供元によるサポートが終了しておりますので、JRE6 をご利用の場合は、お早めに JRE7 または JRE8 への移行をご検討願います。

OS	ブラウザ	JRE6	JRE7 Update		JRE8 Update
			15	45	25 (※5)
Windows 8.1	Internet Explorer 11	×	○	○	○
Windows 7	Internet Explorer 11	×	○	○	○
	Internet Explorer 10	×	○	○	○
	Internet Explorer 9	×	○	○	○
	Internet Explorer 8	×	○	○	○
Windows Vista	Internet Explorer 9	×	○	○	○
	Internet Explorer 8	×	○	○	○
	Internet Explorer 7	×	○	○	×

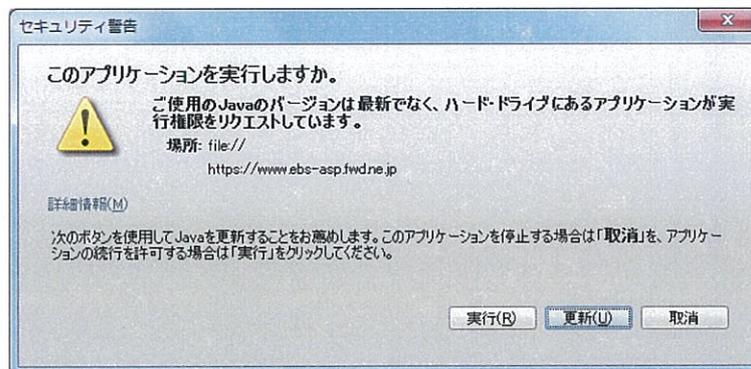
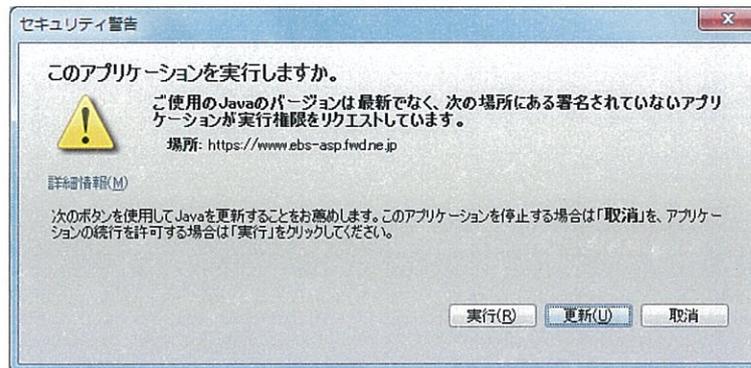
(※5) JRE8 Update25 をご利用の場合は、次頁の「JRE8 Update25 をご利用になる際の注意事項について」をご確認ください。

**※クライアントの対応状況は上記とは別に各認証局のソフトウェアに依存します。
詳しくはご利用の認証局へお問い合わせください。**

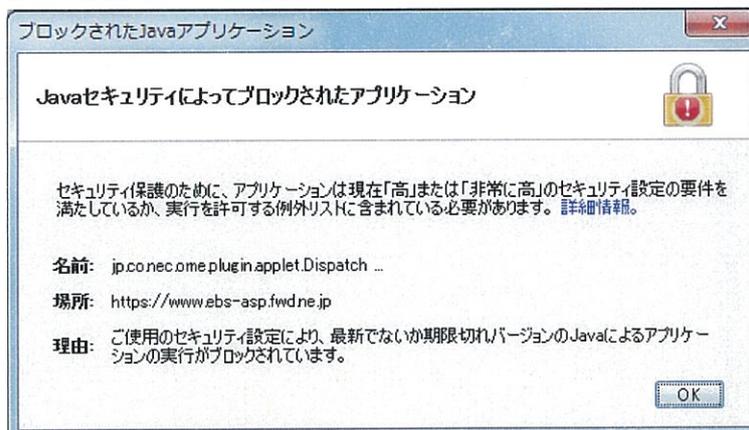
JRE8 Update25 をご利用になる際の注意事項について

JRE8 Update25 をご利用の場合、JRE のセキュリティ強化に伴い、電子入札システムログイン時に以下警告メッセージが表示され、ログインできない場合があります。

(警告メッセージ表示イメージ (1))



(警告メッセージ表示イメージ (2))



警告メッセージ表示イメージ (1) が表示された場合は、以下手順を参照してください。

⇒ 1. Java の警告メッセージ回避方法

警告メッセージ表示イメージ (2) が表示された場合は、以下手順を参照してください。

⇒ 2. 例外サイト・リストの追加方法

【1. Java の警告メッセージ回避方法】

電子入札システムログイン時にセキュリティに関する警告メッセージが表示された場合、以下の手順を行ってください。

- (1) 接続先①が電子入札システムであることを確認します。
`https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp`
- (2) 「実行」 ボタン②をクリックします。

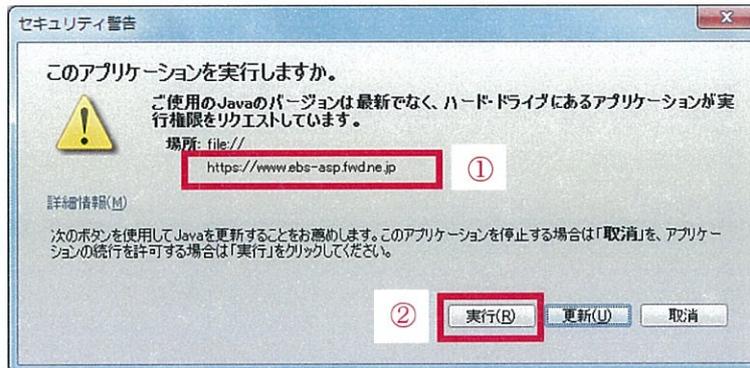


図 1-1 Java の警告メッセージ画面

【2. 例外サイト・リストの追加方法】

本手順は参考資料です。詳細の手順に関しては各認証局にご確認ください。

JRE8 を利用するには、コアシステムを利用するすべての PC において、Java コントロールパネル「例外サイト・リスト」に、ご利用頂く電子入札システムの URL (java ポリシー記載と同じ) 及び電子入札専用クライアントソフトウェア (各認証局が提供) のプログラムファイル名を設定する必要があります。

ご参考として、以下に直接追加する手順を記載いたします。

- (1) コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。



図 2-1 コントロールパネル画面

- (2) Java コントロールパネルが表示されます。
「セキュリティ」タブ①をクリックして、「サイト・リストの編集」ボタン②をクリックします。

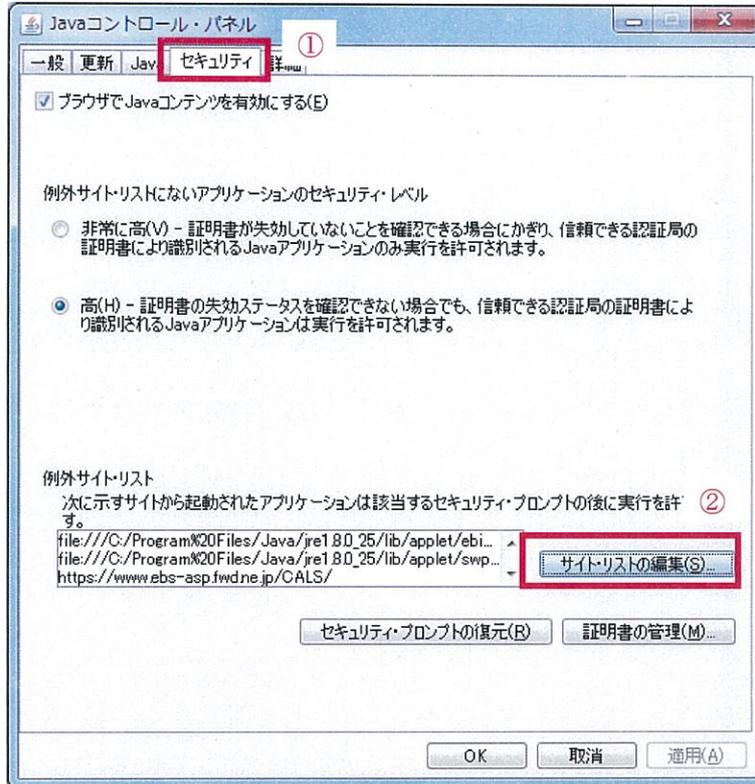


図 2-2 Java コントロール画面①

- (3) 「場所」欄①にご利用頂く電子入札システムの URL (java ポリシー記載と同じ) 及び電子入札専用クライアントソフトウェア (各認証局が提供) のプログラムファイル名を登録します。入力後「追加」ボタン②をクリックし、「OK」ボタン③で閉じます。

電子入札専用クライアントソフトウェアは以下フォルダ内のプログラム名を「置換条件」に従い変換してください。

フォルダ名 : C:\Program Files\Java\jre1.8.0_25\lib\applet

電子入札システムの URL : https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CALS/

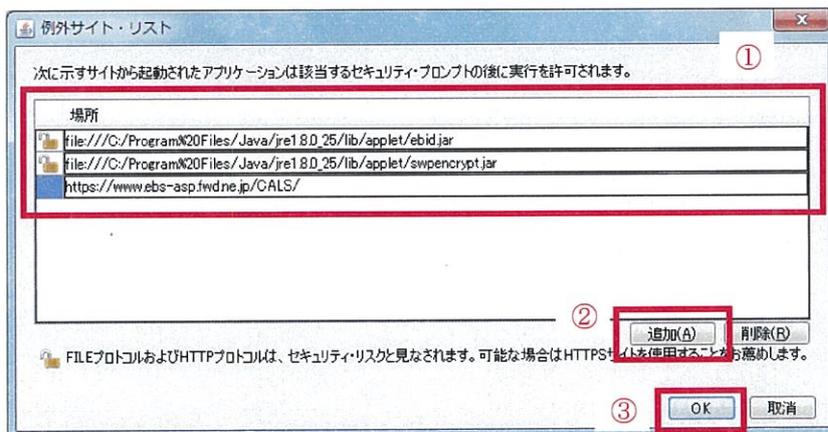


図 2-3 Java コントロール画面②

【置換条件】

- ・ 半角スペースがある場合は、「%20」に置き換える
- ・ 「¥」は「/」に置き換える
- ・ 先頭に「file:/」を付ける

【置換条件に従い置換した結果】

- ・ 64bit PC の場合

file:///C:/ Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/ebid.jar

file:///C:/ Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/swpencrypt.jar

- ・ 32bit PC の場合

file:///C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/ebid.jar

file:///C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/swpencrypt.jar

※注意※

JRE のインストール先を変更した場合は、フォルダ名が変わりますのでご注意ください。
また、具体的な設定手順については、各認証局にご確認ください。

以上